



春期日本語・日本事情プログラムにカナダのカルガリー大生ら25人が参加、専大生との交流も活発だった。
(9面記事)

ニッポン専修

「専修大学」ホームページ

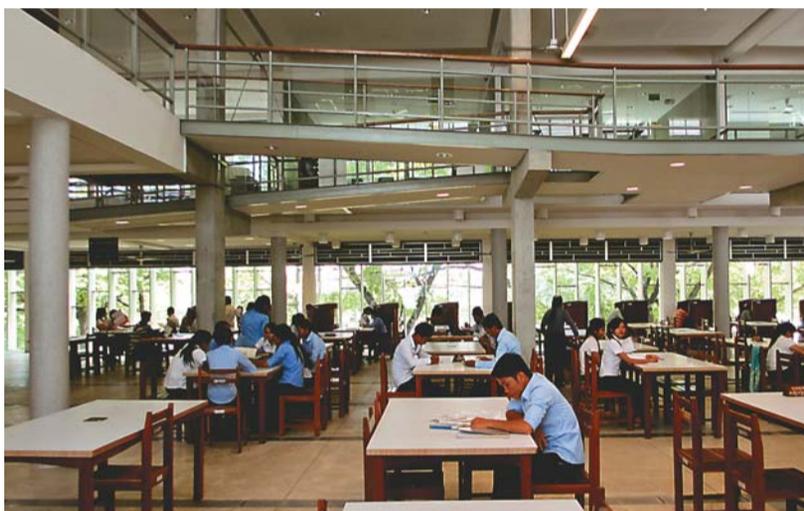
http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

王立ブノンペン大学との交流活動スタート

専修大学は王立ブノンペン大学(カンボジア、Lay Chhiv Eav 学長)と国際交流協定を結んだ。前号既報。両大学の学術・教育、研究分野の交流活動がスタートする。

図書館で学ぶ王立ブノンペン大学の学生たち



協定書を交わすLay Chhiv Eav 学長と日高義博学長＝中央の2人

本学はかねてインドシナ圏の大学との交流を推進してきた。これまでベトナム国家大学ハノイ人文学部(ベトナム)、ラオス国立大学(ラオス)と協定を結び、交流を深めている。王立ブノンペン大学は3校目になる。

4月29日に結ばれた協定の内容は▽教員・研究者の交換▽学生の交換▽共同研究、学術会議、研究会の実施▽学術文献など刊行物の交換▽両大学により相互に合意したその他の学術活動となる。

日高義博学長、松木健一常務理事、大林守国際交流センター長らが同大を訪問。インドシナ半島南部、タイ湾に面するカンボジアは、ポル・ポト政権下の長い内戦の影響で、教育が今、最も重要な課題のひとつとなっている。王立ブノンペン大学は、1960年創立。カンボジアで最初の高等教育機関で、社会科学人文学部(地理学、歴史学、哲学、心理学、社会学など10学科)、理工学部(情報科学、数学など6学科)、外国語研究所(英語、中国語、日本語、中国語など6学科)および大学院修士課程などがある。学生数約1万3000人、教職員数約4500人、広大なキャンパスを有

教育、研究など幅広く

インドシナ圏で3校目の協定校



しており、メインキャンパスはブノンペン市の中心から約5キロ離れた場所にある。キャンパス内には市場経済化を担うカンボジアの人材育成を目指す「カンボジア日本人材開発センター」などの機関も設置されている。アセアン大学連合(ASEAN University Network: AUN)に加盟する26校のうちの1校。同国の中心的な大学としてさらなる拡充が期待されている。



▲新しかった書道教室は窓から竹林が見える。学生たちを指導する仲川教授＝中央

書道教室
引越す

生田キャンパス書道教室が2号館から9号館8階に引っ越した。新書道教室は、窓から9号館中庭の竹林が見られ、書心が刺激される雰囲気だ。5月31日、「書道」の授業が行われ、文学部1年次生22人が、仲川恭司文学部教授の指導の下、複雑な漢字の練習として楷書で「落」「飛」に取り組んだ。

最新列で半紙に向かった岩崎里歩さん(日本文学)は「書道は、一筆一画が命。小学校の授業以来、練習を重ねれば重ねるほど、少しずつですがうまく書けるようになっていく。不思議です」と言う。皆木子竜さん(日本語学)は「練習を積むことで字の形や書道のコツが分かるようになってきました。落ち着いた教室です」と話す。

当日は関東地方梅雨入り宣言の翌日だったが、初夏をほらむ日差しが開けはなれた窓から降り注いでいた。4面に関連記事。

主なニュース

- 2 学校法人専修大学2012年度決算概要
- 3 「岡崎まちゼミの会」松井洋一郎氏講演 商学研究所以例研究会
- 4 『生田緑地の木本植物』改訂版 自然科学研究所が刊行
- 5 石巻専修大学特集
- 6 2013年度長期交換留学学生決まる
- 7 育友会定期総会・新会長に瀬在義夫氏



DVD絶賛販売中(購買会他)



北海道短大閉学式

専修大学北海道短期大学の閉学式が6月8日、美幌市の短大キャンパスで行われた。卒業生や元教職員ら約480人が出席し、45年におよぶ歴史に幕を閉じた。詳細は次号。

専修大学 体験授業フェア
6/23 SUN 10:00~14:10
生田キャンパス 申し込み不要

Contents

- ◆分野別授業(43講座)
- ◆経済系3学部の違いについて
- ◆大学紹介、大学紹介DVD上映
- ◆総合相談
- ◆在学生によるイベント
- ◆資料配布
- ◆キャンパス見学(自由見学)

入学センターインフォメーション
(神田キャンパス) TEL03-3265-6677
(生田キャンパス) TEL044-911-0794